

授業科目名	文学 I	選 択	開講年次	1	単位数	2
科目区分	基本科目					
サブタイトル	漢字検定試験に良く出る四字熟語を楽しく覚えよう	担当者	加藤 阿幸			
講義概要	<p>【概要】 四字熟語はほとんど中国の古典文学書から出ることが多い。例えば、「切磋琢磨」は中国最古の詩集『詩経』から、「温故知新」はご存知『論語』から、また「百発百中」はなんと『史記』から。しかし、これらの四字熟語はもはや日本語の漢字検定試験の出題頻度最上位の言葉である。</p> <p>本講座では、漢字検定試験 2、3、4 級によく出る四字熟語を中心に取り上げ、出典や故事来歴のある言葉については、その出典となる書物や著者にも触れていきたい。</p> <p>【到達目標】 少なくとも漢字検定試験 3 級程度の四字熟語を覚えるようにしたい。</p>					
履修条件	四字熟語の苦手な人、あるいは、四字熟語の本当の意味を知り、自分の国語能力をさらに高めたい人					
教科書・参考書	<p>【教科書】特になし</p> <p>【参考書】 黒板に板書し、必要に応じては、プリントを配る。</p>					
授業回数	内容					
1	なぜ文学は人生に必要なか。					
2	四字熟語とは―「百発百中」だって中国古典書籍の言葉					
3	四字熟語で中国古典文学を楽しむ					
4	中国文学と四字熟語(その1)―中国文学史概説					
5	中国文学と四字熟語(その2)―人の行い・振る舞いに関して					
6	中国文学と四字熟語(その3)―学問・仕事に関して					
7	中国文学と四字熟語(その4)―男女・人間関係に関して					
8	中国文学と四字熟語(その5)―人生の機微に関して					
9	中国文学と四字熟語(その6)―処世の智慧に関して					
10	四字熟語で『三国志』を百倍面白く解説する(その1)―「三顧の礼」とは					
11	四字熟語で『三国志』を百倍面白く解説する(その2)―「水魚の交わり」とは					
12	四字熟語で『三国志』を百倍面白く解説する(その3)―「脾肉の嘆」とは					
13	四字熟語で『三国志』を百倍面白く解説する(その4)―「刮目相待す」とは					
14	四字熟語で『三国志』を百倍面白く解説する(その5)―「七歩の才」とは					
15	三国志のビデオ鑑賞					
評価方法	板書された及び口述内容をまとめたものを最低10枚提出し、四字熟語を3つ以上調べ、その出典、書籍、著者について解説し、最低 400 字以上をレポートにして提出すること。					
評価基準	上記授業の単元の内容について、決められた枚数によく書きまとめ、かつレポートの内容も適切に表現できたものには「A」を与える。単元の内容についての理解やまとめが不適切な点がある者には、その程度に応じて「B」または「C」とし、指定した枚数や字数が足りない者はその程度に応じて「D」または「E」とする					
その他	出席は三分の二以上必要である。					